

2014年度事業計画

公1事業：音楽に関する学習機会を提供する事業

No. 1 「社会人のための音楽通信教育」

1948年（昭和23年）東京音楽学校同声会が母体となり、文部科学省認定音楽分野唯一の「社会人のための音楽通信教育」を実施してから65年に及び実施しており、今後も継続して民間音楽教育の普及・向上の推進を図る。2012年度より、時代に応じたテキストの改訂に取り組み、2013年度より「たのしい作曲法」から順次テキストを改訂し、時代のニーズに合ったテキスト作成に取り組む。

昨年末、新テキストが文科省生涯学習局一般社会人通信教育の申請が認可された。2014年度4月より新テキスト「たのしい作曲法」を使用するため、現在資料の最終調整及びテキスト印刷の準備中。

また、2014年度では「音楽のすべて音楽通論」のテキスト改訂に向けてテキスト作成に取り組む。

No. 2 「楽譜検定」

楽譜とは、作曲者がプレイヤーに演奏情報を伝えるための設計図、あるいは後世に作品を残すための重要な手段の一つである。作曲者の意図を正しく伝えるためには、より正確で美しい楽譜であることが大事だが、そのためには伝統的な楽譜表記の「ルール」を知っていることがまず必要不可欠である。本検定は「楽譜に関する知識」について一定の指針を示し、その習熟度によってグレード（級）を付与することで、楽譜について学びたい方々の意欲向上、ひいては音楽文化の継承発展を牽引する人材の育成を目指す。

①ホームページおよび試験システムの運営

本検定の入口となるホームページ、および試験システムを運営（2013年7月より公開中）。楽譜を学ぶことの意義を啓蒙し、受験を促します。試験方式はインターネット・オンライン上で実施するものとし、24時間、365日、何時でも何処でも、学び、試験を受けられる体制を整え、設問の作成、継続的な更新作業、受験者情報の管理を含む、検定実施に係る一切の運営を行う。

②楽譜検定のグレードについて

開始当初は10級から2級までのグレードを設置します。10～8級は初学者向け、7～5級は中級者向け、4～2級は高等知識を問う内容とし、将来的には作品審査を伴う1級やそれ以上のグレードの設置も検討する。

③受験料について

本検定の受験は有料とする。ただし、学校等の教育現場でも気軽に活用できるよう10～8級は無料とする。7～5級が500円、4級＝1,000円、3級＝1,500円、2級＝2,000円の受験料を設ける。

④合格基準

およそ8割の正答により合格と判定し、オンライン上で認定証を発行。

⑤楽譜を学ぶための支援活動

音楽や楽譜を学ぶ際に有用な参考テキストや教育機関を紹介するなど、視野の広い情報提供を行います。

⑥プロモーション活動

各種音楽イベントにおいて、リーフレットの配布などのプロモーション活動を行う。

⑦有料グレードの開始について

2014年2月現在、10～8級までの無料グレードのみ公開しており、これまでにおよそ550名以上の方が楽譜検定に取り組まれています。また、実際に取り組まれた方から「設問が少ない」「再チャレンジが1回しかできないのでは有料グレードは受けたくない」といったご意見が寄せられており、このような諸問題および設問内容を吟味したうえで2014年4月から有料グレードのスタートに踏み切りたい。

公2事業：音楽に関する発表機会を提供する事業

No. 3 「日本管打楽器コンクール事業」

このコンクールは、公益財団法人日本音楽教育文化振興会が主催する事業の一つで、生涯学習を通じての個人並びに社会に役立つ視野に立ち、管楽器及び打楽器（12楽器部門）の各分野から有能なソリストの発掘、優秀な人材の育成、及びこのジャンルの啓発を目的とする。尚、各開催楽器部門の1位受賞者に、文部科学大臣賞・東京都知事賞をそれぞれ授与、特別大賞演奏会に内閣総理大臣賞（予定）を授与する。

「2014年度 第31回日本管打楽器コンクール」

実施楽器部門：オーボエ・サクソフーン・パーカッション・マリンバ

○オーボエ部門 会場：武蔵野音楽大学（東京都練馬区羽沢1-13-1）

（第一次予選・第二次予選・本選：モーツァルトホール）

第一次予選 2014年8月18日（月）～19日（火）10：00～

第二次予選 2014年8月21日（木）10：00～

本選 2014年8月23日（土）13：00～

○サクソフーン部門 会場：洗足学園音楽大学（神奈川県川崎市高津区久本2-3-1）

（第一次予選・第二次予選：シルバーマウンテン／本選：洗足学園中学・高等学校大講堂）

第一次予選 2014年8月18日（月）～20日（水）10：00～

第二次予選 2014年8月21日（木）～22日（金）10：00～

本選 2014年8月23日（土）13：00～

○パーカッション部門 会場：国立音楽大学（東京都立川市柏町5-5-1）

（第一次予選：新一号館スタジオ／第二次予選・本選：講堂小ホール）

第一次予選 2014年8月20日（水）～21日（木）10：00～

- 第二次予選 2014年8月22日（金） 10：00～
 本 選 2014年8月23日（土） 13：00～
- マリンバ部門 会場：東京音楽大学（東京都豊島区南池袋3-4-5）
 （第一次予選・第二次予選・本選：100周年記念ホール）
 第一次予選 2014年8月18日（月）～19日（火）10：00～
 第二次予選 2014年8月21日（木） 10：00～
 本 選 2014年8月23日（土） 13：00～
- 表彰式と特別大賞演奏会
 日 時 2014年8月29日（金）17:00～
 会 場 かつしかシンフォニーヒルズ（東京都葛飾区立石6-33-1）
 指揮・共演 山下 一史 / 東京ニューシティ管弦楽団
- 後 援
 内閣府、外務省、文部科学省、アメリカ合衆国大使館、ドイツ連邦共和国大使館、
 イタリア大使館、中華人民共和国駐日本国大使館文化部、駐日韓国大使館 韓国文化院、
 タイ王国大使館、東京都、豊島区、豊島区教育委員会、練馬区、練馬区教育委員会、葛飾
 区、葛飾区教育委員会、立川市、立川市教育委員会、川崎市、川崎市教育委員会、「音楽の
 まち・かわさき」推進協議会、公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人日本オーケストラ
 連盟、一般社団法人日本音楽著作権協会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連
 盟、神奈川県吹奏楽連盟、日本木琴協会、他
- 特別協力大学
 武蔵野音楽大学、洗足学園音楽大学、国立音楽大学、東京音楽大学
- 協 力
 日本オーボエ協会、日本サクソフーン協会、日本打楽器協会
- 協賛企業
 東京都民銀行春日町支店、株式会社図書出版、株式会社ヤマハミュージックジャパン、
 野中貿易株式会社、株式会社グローバル、株式会社ドルチェ楽器、株式会社ビュッフェ・グ
 ループ・ジャパン、日本ダブルリード株式会社、株式会社美ら音工房ヨーゼフ、株式会社石
 森管楽器、株式会社プリマ楽器、パール楽器製造株式会社、株式会社コマキ楽器、株式会
 社こおろぎ社、株式会社斉藤楽器製作所、株式会社セントラル楽器、有限会社バロックミュ
 ージック、株式会社友ミュージック、株式会社フォトライフ、株式会社JTB関東、他
- 協賛大学・専門学校
 京都市立芸術大学、愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、昭和音楽大学、桐朋学園大学音
 楽学部、尚美学園大学、東邦音楽大学、上野学園大学、日本大学芸術学部音楽学科、札幌大
 谷大学芸術学部音楽学科、名古屋芸術大学、名古屋音楽大学、相愛大学音楽学部、エリザベ
 ト音楽大学、くらしき作陽大学、平成音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校

No. 4 「日本管楽合奏コンテスト事業」

管打楽器および吹奏楽に関する研究・調査・啓発を行なうとともに音楽文化の向上を図り、学

校教育、生涯学習における我国の管打楽器および吹奏楽の充実・発展に寄与することを目的とする。その一環として「日本管楽合奏コンテスト」を開催する。

①独自のサウンド」を求める。

②管打楽器合奏、アンサンブル、吹奏楽、同属楽器アンサンブル（クワイアー等）、声楽、電子楽器、弦楽器との多様な編成について考える。

③時代様式、演奏様式、個人様式などの追求・研究を行う。

④全国大会においては、視覚的演出表現等の研究を行う。

「2014年度 第20回日本管楽合奏コンテスト」

予選審査会 2014年09月27日（土）・28日（日）・29日（月）（非公開）

全国大会 2014年11月01日（土）・02日（日）・03日（祝月）

会場：すみだトリフォニーホール（東京都墨田区錦糸1-2-3）

2014年11月08日（土）・09日（日）

会場：かつしかシンフォニーヒルズ（東京都葛飾区立石6-33-1）

□共 催

一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

□後 援（予定）

文部科学省、東京都、墨田区、墨田区教育委員会、葛飾区、葛飾区教育委員会、

一般社団法人全日本吹奏楽連盟、他

□協 賛（予定）

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社こおろぎ社、株式会社鴻池組、株式会社

ハッスルコピー、株式会社フォトライフ、ブレン株式会社、株式会社ヤマハミュージック

ジャパン、ローランド株式会社、尚美ミュージックカレッジ専門学校、他

No. 5 「日本ジュニア管打楽器コンクール」

全国小学校・中学校・高等学校の教育現場における管打楽器教育のあり方と、管打楽器愛好者の優秀な人材の発掘や育成及び、啓発と普及を目的とする。文部科学大臣賞授与。

「2014年度 第17回日本ジュニア管打楽器コンクール」

開催部門 ソロ部門（12楽器の部）／アンサンブル部門（木管の部・金管の部・打楽器の部）

各コース 小学生コース／中学生コース／高校生コース

実施楽器 フルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・サクソフォーン・トランペット・トロンボーン・ホルン・ユーフォニアム・テューバ・パーカッション・マリリンバ

演奏曲目 予選・本選考会とも規定分数以内の任意の楽曲とする。

演奏時間 ソロ部門／小・中学生コース 5分以内。高校生コース 6分以内。

アンサンブル部門／小・中・高校生コース 5分以内

受付開始 2015年01月08日（木）～02月04日（水）

予選考会 2015年02月14日（土）～02月15日（日）＜非公開＞

本選考会 2015年03月23日（月）～03月27日（金）

会 場 尚美ミュージックカレッジ専門学校（バリオホール）

「2014年度 第17回日本ジュニア管打楽器コンクール入賞者記念演奏会」

本選考会入賞者の中から選考し、記念演奏会を開催。

日 時 2015年03月29日（日）13時開演（予定）

会 場 文京シビック小ホール（東京都文京区春日1-16-21 Tel:03-3812-7111）

入 場 料 1,000円

□後 援（予定）

文部科学省、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、日本木琴協会、東京都高等学校吹奏楽連盟、長野県吹奏楽連盟、北海道留萌地区吹奏楽連盟、福島県吹奏楽連盟、千葉県吹奏楽連盟、栃木県吹奏楽連盟、北海道旭川地区吹奏楽連盟、熊本県吹奏楽連盟、北海道札幌地区吹奏楽連盟、岩手県吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟、大阪府吹奏楽連盟、埼玉県吹奏楽連盟、兵庫県吹奏楽連盟、京都府吹奏楽連盟、東京都中学校吹奏楽連盟、東京都小学校吹奏楽連盟、他

□協 力（予定）

日本フルート協会、日本クラリネット協会、日本オーボエ協会、日本ファゴット（バズーン）協会、日本サクソフォーン協会、日本ホルン協会、日本トランペット協会、日本トロンボーン協会、日本ユーフォニアム・テューバ協会、日本打楽器協会

□協 賛（予定）

株式会社ヤマハミュージックジャパン、ブレーン株式会社、株式会社フォトライフ、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社ドルチェ楽器、東京ミューズアカデミー、株式会社JTB関東、他

No. 6 「サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー」

作曲家の人材発掘を主眼としたコンクールやコンテストは、既に国内外に数多く存在しています。特に伝統的な西欧クラシック音楽の延長上にある現代音楽の分野においては、様々な格式の作曲コンクールが多数存在しています。しかし一方で、現代社会において一般大衆に対する娯楽音楽、つまり商業音楽、ポピュラー音楽や映画放送音楽や劇伴といった分野への進出を目指す作曲家の人材発掘を目指したコンクールやコンテストの類は、まだ歴史も浅く、数も多くはないといった状況です。

そこで私どもは、あるテーマ（課題）を設定して、それに沿った作品を募集して審査するという実際的な方法で、優れたクリエイターの資質を備えた人材を発掘するコンクールの企画化を目指すことにしたという訳です。今までに在るようで無かった…、こんなクリエイター発掘コンテストが欲しかった…、というコンクールを開催します。

「2014年度 第2回サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー」

課 題：『東北・未来』

作品内容について：オリジナル作品に限る

作品の提出形態：1）音楽作品：DTMまたは生演奏によるオーディオ・データ

2）映像作品：オリジナル映像にDTMまたは生演奏による音楽を付与

した作品の総合データ

音楽の編成形態：歌ものでもインストゥルメンタルでも可

映像の編成形態：実写でもCGでもその組み合わせでも可

作品再生時間規定：音楽作品と映像作品ともに30秒以上5分以内を厳守すること。

参加料：音楽作品＝1作品毎に10,000円

映像作品＝1作品毎に10,000円

※一人（組）について何作品の応募も可能。（但し、参加料は1作品毎に設定）

※映像作品の応募については、映像と音楽を分担して制作したユニットでの応募も可能。

応募期間：2014年04月14日～2014年06月16日（予定）

応募方法：ホームページからによるオンライン応募

選考期間：2014年06月20日～2014年06月30日

（第一次選考／第一次選考結果発表／ファイナル）

ファイナル結果発表：2014年07月03日 第2回クリエイターEXPO会場にて発表

※クリエイターEXPO終了後にホームページにて一定期間鑑賞可能とする。

エキシビジョン：2014年07月03日 第2回クリエイターEXPO会場にて実施

グランプリ（第1位）／賞金＝250,000円

入選（ファイナル進出作品）／賞状

協力

リード エグジビション ジャパン株式会社

後援（予定）

一般社団法人日本作編曲家協会、社団法人日本作曲家協議会、日本現代音楽協会、一般社団法人日本音楽著作権協会、日本音楽作家団体協議会、他

協賛

インターネット関連企業、DAWソフトウェア関連企業、音楽制作関連企業、電子楽器関連企業、他（予定）

特別協力

インターネット通信関連企業（予定）

公3事業：音楽に関する鑑賞機会を提供する事業

NO. 7 「全日本市民バンドフェスティバル事業」

全国の音楽バンドの発展と地域における市民音楽バンド活動の一環として、地方音楽文化の普及と啓発に貢献することを目的とし、ここに「全日本市民バンドフェスティバル」を開催し、演奏会・交流会を行う。

「2014年度 第7回全日本市民バンドフェスティバル」

内容 音楽のジャンルは問わない。小編成から、大編成40名位まで。演奏曲目は自由とし、演奏時間は20分とする（入退場含む）

バンドの形態としては、小学生バンド、中学校吹奏楽部、高校吹奏楽部、一般バン

ド、ママさんバンド、シニアバンド、障害者と健常者のバンド、 ジャズバンドなど。

日 時 2014年12月07日（日）13:00～18:00（予定）

会 場 尚美ミュージックカレッジ専門学校（バリオホール）

協 賛 株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社フォトライフ、他

NO. 8 「国際音楽ソフトウェア流通協議会」

（略称：イムスタInternational Music Software Trade Association）

違法コピーは蔓延しています。2008年のIMSTA委員会の設立から市場や消費者にメッセージを届け、継続的な教育啓蒙活動が主たる活動となります。

①ベントプロモーションをおこなう。

店頭などで、リーフレットの配布などのプロモーションを行う。（特に土、日）店頭用ポスターなど、各メーカー製品デモンストレーション時に、カタログと一緒にリーフレットの配布。

②委員活動。

継続してソフトウェア開発会社及びソフトウェア輸入代理店、小売店等への参加を呼びかけ。

③広報活動。

媒体各社への無償告知の要請、無償パブリシティの協力要請、ミュージシャンへの取材およびWEBへの掲載。<http://www.imsta.org/japan/index.php>

④その他

ヤフーオークション他へのIMSTA委員会としての団体参加、音楽ソフトウェアの私学助成金対象への啓蒙運動。

⑤Facebookでの普及啓蒙活動の実施 <https://www.facebook.com/IMSTAJapan>

啓蒙活動予定：

- ・IMSTA FESTAカタログ配布
- ・告知について 基本は電子メール、WEB、Facebook用いたバイラルマーケティング（口コミ）を主体とし、有料媒体は使用しない。
- ・各種展示会へのタイアップ（楽器フェア、国際放送機器展、シンセフェスタなど）